

# 8月17日(日)

無着色

# 辛子明太子

店頭で量り売り

お好きな量を  
言って下さい!!

1g 2円 (税込)



西田鮮魚店

872-5246

御用聞き便専用番号 090-7125-5489 (旧庄原市内はご自宅に配達)  
御用聞き便ポイントカード 火・水曜日ポイント2倍

今日は、奥原です。今年の目標「嫁と旅行へ行く」第三回行つて参りました!

今回は岡山県牛窓町。日本のエーゲ海とも言われる景観の土地だそうで、実際に到着すると、メチャクチャ綺麗で、大自然の中お洒落なカフェに行つてみたりと、普段したことの無い行動で嫁さんも動搖しております。(汗)旅行の力はすごいですね。ついで、ホテルの海を見ながらできる贅沢エクステを予約してあげるなど、だいぶ嫁さん孝行ができたと、勝手に自負しております(笑)。

最近では、今度は何処に行くの?と嫁さん始め、お客様からも聞かれる日があり、楽しみにしてくださり有り難い事で、旅がどうだったかは店頭にてまた、お気軽にお聞きください。次の四回目もしっかり広告にて報告致しますので、お楽しみを!

さて、皆さんご覧の通り今回の広告は、「無着色辛子明太子」となっております。なんとお値段1g2円!!従業員の私でもビックリな値段じゃないですか!お好きな量だけお得に買える。物価高で、ガソリンや米すらも高いこの時に流石の店長の仕入れ!ご飯のおかずには勿論トーストに乗せて焼いたり、高菜に混ぜて、高菜明太にするのも美味しいですよ。私は、本日夕飯に豆腐の上に乗せて一杯やううと思います(笑)。皆さんも美味しい食べ方知ってるよ~って方いらっしゃいましたら、是非教えて下さいね!

# 視力

鮮コーコーポレーション株 代表取締役会長 西田 昌史

## I 見えん

この半年でめつきり視力が落ちた。

あれほどハッキリ見えていたスマートの文字さえ読みにくい。

60才の時、白内障の手術を受けた。

あれから今日までメガネは不要になつた。それが……。

## II 近眼

高1で近視のメガネをかけ始めた。

父も母も3人の姉弟も誰一人近眼はいなかつた。

あのころ、家でただ一人メガネをかけた私は、なんだろ

う、ちょっとばかし誇らしかつた。振り返つてみると、イン

テリという言葉が頭をよぎり、そのせいのような気がする。

私の中でメガネ＝インテリだつた。だから、けつして嫌で

はなかつた。インテリに見えて。

少しづつ度が進み0・02とか0・03とかになつていつ

た。当然、レンズの厚みも増す。とはいえ、漫画に出てくる

ような牛乳瓶の底とまではいかず気にはならなかつた。

## III メガネとファッショニ

10代、20代のころは、メガネにこだわることもなく、どこ

にでもあるような野暮つたメガネをかけていた。メガネ

は、よく見えればそれではよかつた。

結婚してから私の身なりに変化が起きた。

オシャレな悦子が、私のファッショニの指導を始めた。

独身時代、私はほぼ服を買ったことはない。母が買つてくる

ものを文句も言わずに着ていた。

ただ、困つたのは、そのほとんどがTシャツだつたことだ。

母には悪いが、とうていオシャレとは言えなかつた。

だから、よく、こちらはアパレルの会社に就職したかつた

ほど服に興味のあつた末の弟の篤生の服を借用していた。

ただ、篤生は心もち私より小さい。私は184センチある

が彼は178センチだ。少くし小さい。

今でも覚えている。広島にあのハードロックの『レッドツ

エッペリン』が来た。友人に誘われた。しかし、あのころの

私に、ロックのコンサートに着ていくような服などありはし

ない。篤生に借りた。当時流行のサイケ調のパンタロン。

でもやつぱり、少し丈が足りない。それはわかつた。わ

かつたけど、我慢した。まあ、これくらいは……。

今ならぜつたいしない。一センチにもこだわる

そんな私が、結婚して、母が買うTシャツから一変、当時

全盛のDCブランドに身を固めるようになつた。

友人が三次で『ロートレアモン』というブランドの店を

やっていたこともあり。悦子に連れられ通つた。

今では、その悦子の手も離れ、洋服は一人で買いにいくほ

どに成長した。

そのころからメガネも変わつた。フォーナインズ(9999)

というメーカーがあるが、こここのメガネを愛用した。おしゃ

れだ。変われば変わるものだ。

## IV 老眼

40代になつてからメガネをしていると、手元が見えなくな

り始めた。メガネを外せばくつきり見える。老眼だ。

それでも、あまり不自由だと思ったことはなかつた。新聞

を読んだり、本を読むときは外せばいいのだから。

困つたのは食事。家で食べるときはいいのだが、仕事柄、いことが多。いちいち、メガネをずらさなければいけない。懷石料理やら何やら、その料理をしげしげと見なくてはならないことが多。いつも仕方ない、我慢すればすむことだと

思つていた。



## V 白内障

ところが、60才前になつて愕然とした。

高速道路の標識の文字が見えにくい。標識が汚れているからだと思つた。道路標識くらいきれいにしとけよ、とぶつぶつ言つていた。しかし、どうもおかしい。全部の道路標識が

見えていた。これは自分に原因があるようだ。

それに世界が、なんか幕を張つたようにかすむ。

さらには、人と話すとき、相手が窓側にいたりすると顔が

真っ黒に見える。時としてまぶしい。

眼科の薬局を経営している友人に電話して聞いた。

「白内障だろう、医者に紹介してやる。手術は簡単だから来い」と言う。そうはいつても眼のことだ。手術と聞くだけで恐い。

しばらく放つておいたが、やつぱり不便だ。意を決して手術を受けた。なんのことはなかつた。片目ずつ日をおいてやつたが10分くらいですんだ。

そして驚いた。見える。遠くも近くも。くつきりはつきり。

高1から45年お世話をなつたメガネがいらなくなつた。

メガネがいらぬことがこんなに快適とは。

## VI 平たい顔族

しかし、メガネはファッショニだと気づかされた。

メガネをかけなくなつて一ヶ月もした

ころ同級生に会つた。なんでも包み隠さ

ずはつきりと口にする彼は言つた。

「どうしたんだら。そがあに、のつべきした顔をして」

そして高らかに笑つた。人の顔を見て。

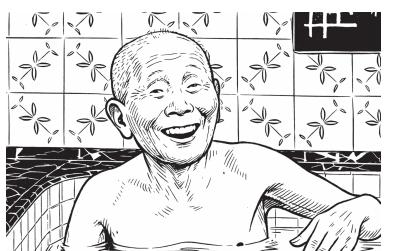
言われてみれば、確かにそうだ。

なんか違う。なんか顔が……。

そう、顔にメリハリがない。

そして、頭に浮かんだ。

ローマ人が現代の日本の風呂屋にタイムスリップしてカルチャーショックを覚えるという漫画をベースにした『テルマエロマエ』という映画。



阿部寛演ずるローマ人が、風呂屋で初めて目にした、湯につかる日本人を見て、『平たい顔族』と呼ぶ。あの場面に出てくるおじさんが私と重なつた。がつくりきた。  
「そうか、今までメガネがアセントになつとつたんじや」といつて、メガネをかけない心地よさには勝てない。  
伊達メガネに走らず、『平たい顔』で通して13年たつ。

## VII 後発白内障?

思いもしなかつた。このまま、くつきりはつきりの人生だと思つていたのに。そうもいかないらしい。症状が白内障と同じようだ。でもネットで見ると、白内障は再発することはないらしい。だが白内障ではないが『後発白内障』ということもある

といつて、メガネをかけない心地よさには勝てない。なるのだと。1~2分ですむとも書いてあつた。

ぐづぐづ思い悩んどらんで、さつさとお医者さんに診てもらおう。悪いくせじや。一人で、ああだこうだと考え込むのは。ちがうみたいだ。字が見えないからだ。

## VIII 本を読みたい

生れてこのかた、ずっと本を読むのが好きだつた。

「本なくしてなんの人生ぞ」というくらいに好きだつた。

ところが、今年は一冊も読んでない。読みかけてもすぐに止めてしまふ。年をとつて根気がなくなつたのだと思っていて。

がうみたいだ。字が見えないからだ。